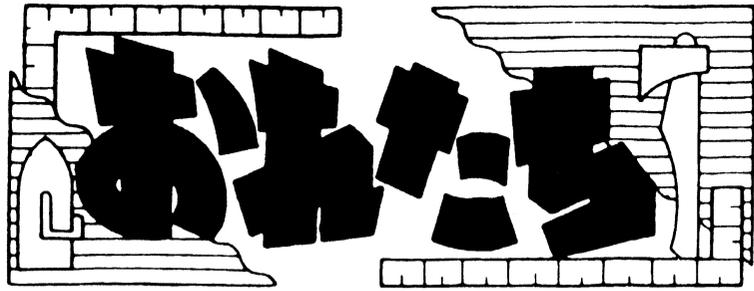


秋の組織拡大月間

8月25日からスタート

みなさんのご協力が必要です

8月初組合員数=2314人(-42人)



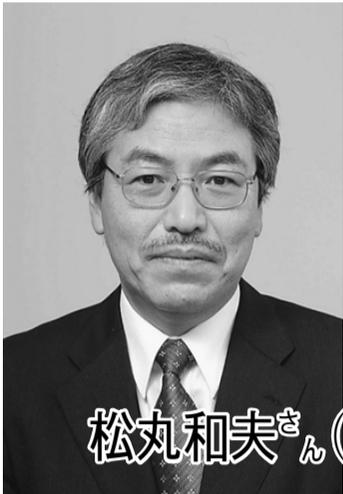
2010年

8月10日

第502号

http://www.doken-arakawa.org/ 東京土建荒川支部

検索



松丸和夫さん(中央大教授)に聞く

働者の労務単価や賃金の大幅な下落をもたらしています。こうした現状を変えて、建設産業のもつ役割とそこに働く人が展望をもてるようにするためには、今こそ建設産業の構造を変えていく取り組み

建設産業の構造変える運動を

建設労組の役割大きく



①松丸教授 ②荒川区役所本庁舎の改修工事は、地元のゼネコンでなく大手のゼネコン・大成建設が受注・施工している

政権が交代しても長引く不況。「今月、1週間しか仕事をしていない」、「1日4000円の手間で働いた」。組合の仲間は悲鳴をあげています。建設産業の現状を変えるためには何が必要か。私たち建設労働組合は何をすべきかを中心に、中央大学教授で建設政策研究所理事長の松丸和夫さんに話を聞きました。

地域循環型公共事業へ転換

これからの日本の建設産業の再生にとって、「地域循環型公共事業」が重要です。日本の建設産業は、今、ダンピング体質から抜け出せないどころかますます事態は悪化しています。重層下請構造の弊害がひどくなっています。結果として、最終的なシワヨセが最末端の建設事業者の仕事確保困難と建設職人・労働者

が必要で、そのためには、伝統的木造軸組工法の再評価、地域循環型公共事業への転換、環境を起点に据えた4Rの推進が必要で、(註)「4R」とは、環境に優しい、無駄のない生活をめざす運動。以下の4つの頭文字(R)をとったもの。①Reuse(リユース)②Reduce(リデュース)③Recycle(リサイクル)④Retain(リテイン)

る。ごみの量を減らすためにはごみの発生を抑制する、つまり、ごみとなるものを家庭に持ち込まないという考え。②Reduce(リデュース)③Recycle(リサイクル)④Retain(リテイン)⑤Reuse(リユース)⑥Reduce(リデュース)⑦Recycle(リサイクル)⑧Retain(リテイン)⑨Reuse(リユース)⑩Reduce(リデュース)⑪Recycle(リサイクル)⑫Retain(リテイン)⑬Reuse(リユース)⑭Reduce(リデュース)⑮Recycle(リサイクル)⑯Retain(リテイン)⑰Reuse(リユース)⑱Reduce(リデュース)⑲Recycle(リサイクル)⑳Retain(リテイン)㉑Reuse(リユース)㉒Reduce(リデュース)㉓Recycle(リサイクル)㉔Retain(リテイン)㉕Reuse(リユース)㉖Reduce(リデュース)㉗Recycle(リサイクル)㉘Retain(リテイン)㉙Reuse(リユース)㉚Reduce(リデュース)㉛Recycle(リサイクル)㉜Retain(リテイン)㉝Reuse(リユース)㉞Reduce(リデュース)㉟Recycle(リサイクル)㊱Retain(リテイン)㊲Reuse(リユース)㊳Reduce(リデュース)㊴Recycle(リサイクル)㊵Retain(リテイン)㊶Reuse(リユース)㊷Reduce(リデュース)㊸Recycle(リサイクル)㊹Retain(リテイン)㊺Reuse(リユース)㊻Reduce(リデュース)㊼Recycle(リサイクル)㊽Retain(リテイン)㊾Reuse(リユース)㊿Reduce(リデュース)

公契約条例の制定と労働協約の締結が不可欠

だが、これらの課題を実現するためにも、建設産業における「労働協約」の締結と公契約条例の制定・公契約適正化が必要です。建設産業の担い手が、人間らしく働きたい

の不条理にせかされた結果、手抜き工事を泣く泣くさせられた建設労働者の無念さ、これを繰り返してはなりません。日建連の「建設技能者の人材確保・育成に関する提言」でも指摘されているとおり、若者から建設産業が敬遠されています。理由をアンケート結果からみると、①収入の低さ、②仕事のきつさ、③休日

の少なさ、④作業環境の厳しさ、⑤建設現場の危険さ、⑥建設現場の汚染、⑦建設現場の騒音、⑧建設現場の振動、⑨建設現場の暑さ、⑩建設現場の寒さ、⑪建設現場の雨、⑫建設現場の雪、⑬建設現場の風、⑭建設現場の霧、⑮建設現場の曇り、⑯建設現場の晴り、⑰建設現場の雨、⑱建設現場の雪、⑲建設現場の風、⑳建設現場の霧、㉑建設現場の曇り、㉒建設現場の晴り、㉓建設現場の雨、㉔建設現場の雪、㉕建設現場の風、㉖建設現場の霧、㉗建設現場の曇り、㉘建設現場の晴り、㉙建設現場の雨、㉚建設現場の雪、㉛建設現場の風、㉜建設現場の霧、㉝建設現場の曇り、㉞建設現場の晴り、㉟建設現場の雨、㊱建設現場の雪、㊲建設現場の風、㊳建設現場の霧、㊴建設現場の曇り、㊵建設現場の晴り、㊶建設現場の雨、㊷建設現場の雪、㊸建設現場の風、㊹建設現場の霧、㊺建設現場の曇り、㊻建設現場の晴り、㊼建設現場の雨、㊽建設現場の雪、㊾建設現場の風、㊿建設現場の霧

労働協約を締結する効果

の賃金を社会的に決定する仕組みがないことです。公契約法(条例)が制定されても、それは契約の一方が「公」の機関である場合に限定されるので、建設市場の大部分を占める「民・民契約」において、安値受注・ダンピングが放置され、そのシワヨセを労働者の賃金に集中しないようにするために、建設産業における労働協約の締結とその遵守がどうしても必要となります。こうした現状を変えていくためには、建設産業労働組合の力をいっそう強め、トップゼネコンから最末端の業者までがなかなかまとまりにくい業界の特性を克服し、建設産業における労使交渉システム形成のトップバッターとして建設産業労働組合が大きな役割を果たすことが求められます。

読まれる分会新聞とは 野津俊夫さん(練馬支部新豊玉分会)が講義

第1回分会ニュースカレッジ

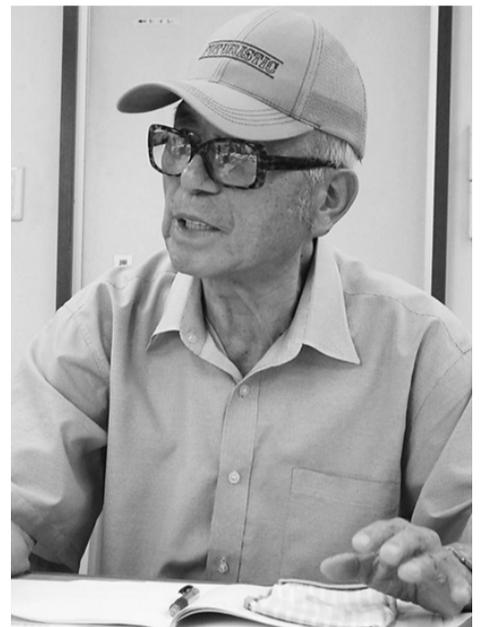


野津俊夫さん(練馬支部新豊玉分会)が講義する様子。星野長生さん(荒川分会)と吉田喜一郎さん(日暮里1分会)から取材した戦争体験などを記事にまとめ、6紙を発行する。

【船橋賢一―書記局】7月25日、教宣部は第1回分会ニュースカレッジを支部事務所で行い、13人が参加しました。
先進的な分会に学ぼうと、練馬支部新豊玉分会の野津俊夫さんから「発行を続けるコツ」や「どうしたら仲間を読まれるか」などの経験談を聞き、見出しの付け方や割り付けのタブーなど機関紙編集の原則を学びました。

(1面の続き)
の競争をせざるを得なくなり、長期的には重層下請構造の中間で「丸投げ」「単価たたき」のみによって存立する中小建設業者は淘汰されるかもしれません。しかし、それによって仕事を失う建設業者こそ政策的支援を行い、仕事・雇用の確保が実現するならばなんら回避すべきことではありません。

活を支えることに誇りをもてる。その姿をみた若者たちが建設産業に再び戻ってくる可能性が高まります。
③町づくり、地域経済の要として建設産業の経済的役割だけでなく、地域社会の担い手の重要な部分として建設業者が、地域活性化におおいに貢献できるようにあります。自治体の防災計画への関与など、地元建設業者の役割は大きい。地域の建設産業の資源を活用して本来の意味で



空襲被災の当時を語る荒川分会の星野さん

野津編集長の発行する『新とよたま』は、本部の分会新聞コンクールで入賞する常連です。
野津さんから「これを機

ることができました。町屋南分会の滝口勝さんと日暮里2分会長の斉藤憲一さんは、合同のニュースを作り上げました。

建設不況打開で6650人が氣勢

日比谷 全建総連7・7予算要求集会

【小野澤富彦記者―西尾

の自治体と住民の「協働」は進むでしょう。労働組合は、本来的に労働市場の取引条件を改善するために誕生しました。労働市場で取引されるのは、労働者の技能と熟練です。これがないがしろにし、たたき合う間違った慣行と正面からたたかい、労働者が「労働能力」のたたき売りをしなくとも技能と熟練の蓄積・向上に専念できる環境を「ディーセントワーク」を作り出すのが労働組合に期待される役割です。

【久】7月7日、全建総連は「建設不況打開・生活危機突破、建設国保守れ・予算要求集会」を日比谷野外音楽堂で開催し、全体で6650人が参加。土建荒川支部から42人が参加しました。
共産党の小池晃参院議員など各政党会派から、土建国保を守り抜く連帯のあいさつがあり、古市全建総連書記長が基調報告を行いました。
基調報告では、全建総連が各政党へ①建設国保の育成・強化、②住宅リフォーム助成制度の創設、③公契約法の制定などの要求実現

建設国保の育成・強化 など各政党に要請行う



6650人が参加した日比谷予算要求集会

を要請したことを報告。また、来年度概算要求については「参院選(7月11日投票)後、すべての地元国会議員に今年度と同額確保を要請しよう」とうたったえました。
閉会后、参加者は「今すぐ『仕事を守れ』守るぞ!」

建設国保」のプラカードを掲げながら、東京駅八重洲まで元気よくデモ行進しました。

健康教室 テーマは高血圧の怖さ

講師に山藤愛子さん(東京土建国保)

【薄井章通信員―町屋南】7月26日、支部会館で健康教室を開催しました。参加者47人。昨年は7月29日に開催しています。

今回は東京土建国保組合の保健師、山藤愛子さんを講師に「高血圧で起こる怖い病気」について学習しました。

この教室に参加した方全員に血圧を測ってもらい、学習の内容説明(テキスト)、チェック表、ディスプレイ、チケットが当たるアンケート

最後に、社会保障対策部からお願いです。ハガキ要請は必ず一人一シートを書いて下さい。秋の健康診断が8月29日から始まりま

特別優待販売のご案内

大塚愛[LOVE IS BORN] ~7th Anniversary 2010

毎年9月に開催される「アニバーサリーライブ」は、今回初めて会場を移しての開催となります。これまでと違った新たな取り組みにもご期待下さい。

☆優待価格☆
全席指定: 7,350円
↓
6,500円

会場:横浜赤レンガパーク 野外特設ステージ
日程:9月11日(土)18:00

この他にもご案内できる公演がございます。詳細はお電話かHPにてご確認ください。
<http://www.sunrisetokyo.com/>

お申込・お問合せはサンライズプロモーション東京まで
TEL:03-3403-0155 (全日10:00~19:00)

※お申込締切日は公演日前日です。
※お座席がなくなり次第、お申込受付を終了いたします。

ボブ佐久間 シンフォニックポップス with 東京フィルハーモニー交響楽団

誰もが心に残るディズニーの名曲と、映画音楽の珠玉の名作たちが、豪華に詰まった心温まるポップスコンサートです。

☆優待価格☆
S席: 6,000円
↓
5,400円

会場:Bunkamuraオーチャードホール 東京パ・ラティコンサートホール
日程:9月21日(火)、22日(水)19:00

現場リーダー が初の決起

大手企業 従事者集会

【増山国吉通信員―西尾久】7月25日、東京土建、

神奈川、千葉、首都圏ユニオン建設、横浜市建設労組、東建従など首都圏の建設労働組合が社会文化会館(社会民主党本部)に結集、「大手企業従事者決起集会」を行い、総勢720人が参加しました。荒川支部からは現場リーダー11人が参加しました。

政治から共産党1人、民主党3人、社民党1人、公明党1人がそれぞれあいさつを行いました。

現場からの告発では、仕事の大幅減少、ダンピング競争の激化、指し値発注と下請けたたきで家族も養えないなど深刻な状況がうたえられました。

大手企業で働く職長やリーダーが初めて決起。仕事よこせ、「賃金単価をあげる」、「建設技能者の育成を」などの諸要求を世論と国政にうたえました。NHKも取材に入りました。



大手企業のリーダーが現場の実態を告発した決起集会



ひとくち映画情報

「悪人」

李相日監督



©2010「悪人」製作委員会（配給）東宝

毎日出版文化賞と大佛次郎賞を受賞した吉田修一のベストセラー小説が映画化。激しい映画化権争奪戦となった本作のメガホンを取ったのは、映画『フラガール』で脚光を浴びた李相日（リ・サンイル）。原作者と共同で脚本を手がけ、重厚な原作をよりリアルに描き出しました。保険外交員の若い女性が遺体で発見されます。犯人として浮上したのは寂れた

漁村で祖父母の世話をしながら暮らす清水祐一（妻木聡）でした。祐一は運命的な出会いをした馬込光代（深津絵里）に殺害を告白。愛し合う2人は絶望的な逃避行を開始します。なぜ祐一は女性を殺したのか。本当の「悪人」は誰なのか。殺人犯との禁断の愛を貫き通す深津絵里の切ない演技が光ります。9月11日から全国公開。



「徳野利三郎が考案した靴のままはけるスリッパは、今の日本のスリッパの原型です。左右なしの小判型で、底は平面でした」と話す

スリッパひと筋 荒川の地で58年

日本人が考え出したスリッパ。そのスリッパを作った58年目になる鈴木商店（荒川区南千住6-8-12）を訪ね、二代目代表の鈴木正明さん（58歳）と三代目を継ぐ息子さんの正和さん（28歳）に話を聞きました。文・写真 川又好一記者 日暮里1

日本のスリッパの歴史について資料をもらいました。同様の所に用ゆ」と記し、

上巻に「スリッパルス」とふりがなをふって紹介しています。上巻がスリッパに。命名したのは福沢でした。そんなスリッパが日本独特の産物になったのは、開港間もない横浜を舞台としてでした。

日本独特の産物—スリッパ 徳野が考察、福沢が命名

当初、外国人の宿泊所にあてられたのは旅籠や寺社でした。そこに靴のまま入ろうとする彼らとの間でトラブルが絶えませんでした。解決策を模索していた宿では、「畳を汚さぬよう、家の中でも履ける履物を作れば」と思いつきました。

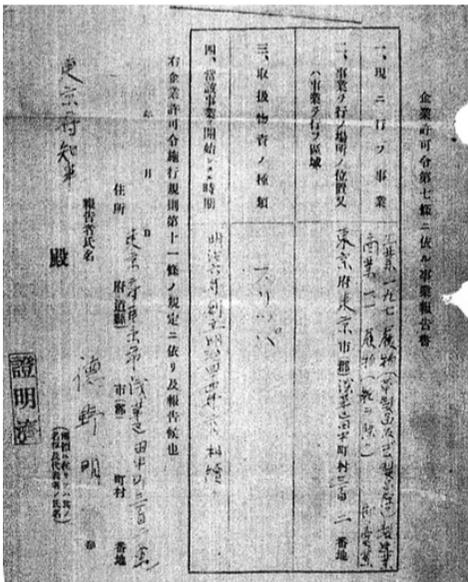


スリッパの誕生地。2人の女子を含む5人の子をもうけた徳野ですが、長男は関西に出向き、その地でスリッパ産業の基礎を構築し、三男は親の後を継いで東京でスリッパを発展させました。

注文を受けたのが、東京八重洲に住む立って職人、徳野利三郎でした。スリッパの存在も知らない徳野は、古畳を重ねて和紙で補強、さらに綿布で包んで底の部分とし、これに甲（ピロードか羅紗）を覆う部分を縫いつけて、その要求を満たす履物を作りました。これこそ日本人が考え出した

海外製品におされ 新たな市場を開拓

鈴木商店創業者の鈴木盛市さんは1924（大正13）年栃木県に生まれ、40（昭和15）年に上京し、伯父のところでスリッパ製造職人になりました。53（昭和28）年9月に独立し、鈴木商店を開業しました。二代目の正明さんは大阪の大手スリッパメーカーで5年間修行し、その後二人三脚でスリッパの製造を始



徳野氏所蔵の配給品割り当て証書には、明治6年創立とある

ぐるっと荒川線 荒川二丁目駅 都電散歩 4

三ノ輪橋駅から4つ目の駅が「荒川二丁目」駅です。

1913（大正2）年開業当時、この辺りは三河島町であったところから「三河島停留所」の駅名がつき、住居表示後に「荒川二丁目」駅と改称されました。駅の東側にあるのが水



都下水道局パンフ「旧三河島汚水処分場」より引用

再生センターです。水再生センターは22（大正11）年3月に旧三河島汚水処分場（ポンプ）場施設として運用を開始しました。

旧三河島汚水処分場簡場は、日本最初の近代下水処理場として高い歴史の評価が認められました。2007（平成19）年12月4日、下水道施設としては初めて重要文化財に指定されました。

下水道施設場の上に人工地盤を造って設置されたのが荒川自然公園です。荒川自然公園は3期に分けて工事が行われ、第1期は運動施設、第2期は荒川区の地形をかたどった池を中心とする水辺、第3期は交通ルールを学ぶ施設です。

下水処理施設の上に造成された公園は、新宿落合にある中央公園に次いで都内では2番目。荒川自然公園は区民だけでなく、荒川区近隣からも都電を利用して多くの人々が遊びに来ます。

並木義男記者「荒川

めました。「海外ブランド品やデパートの企画品など品質本位の商品にこだわり、業績を伸ばしましたが、その後安い海外製品に市場を奪われてしまいました」と話します。

また、日本製スリッパ業界はここ数年大きく市場も変化するため、正明さんは一部スリッパ製造技術を生かし、息子の正和さんと新たな市場に挑戦を始めています。市場に左右される物づくりですが、その技術を新たな市場で生かそうとする鈴木商店に期待をしたいものです。